The 9th WILL
もうひとつのこどもの日
OCTOBER 13.2007
子供たちをこれ以上被害者にも加害者にもしないために

本日は、お忙しい中、第9回「WILL」にご参加いただき誠に有難うございます。

当会では少年犯罪で殺された子供たちの遺族と、置き去りにされたその子供たちや家族の現状を多くの人たちに知ってもらいたいと思い、「WILL」を催してきました。この「WILL」もおかげさまで9回目を迎えることになりました。

私たち「少年犯罪被害当事者の会」は、少年によって愛を殺された家族の会です。97年に会ができてから、子供を殺された家族が中心になって、いっさいの政治や宗教等にとらわれることなく、少年法の問題など無尽の体験を各方面に話してきました。

そして今年は、会ができて10年目にあたります。

会ができたばかりの頃、少年犯罪被害者遺族の話を聞いてくれる所などどこにもなく、自分たちで機会を見つけは、話をし続けてきた私たちにとってこの10年目の時を迎えられるという事は、とても感慨深い思いです。

そしてこんなに出る会を続ける事ができたのは、この10年間に知り合った皆様方のおかげだと改めて感謝を申し上げます。

04年12月に犯罪被害者等基本法が成立し、現在では大阪府、京都府などの行政機関にも犯罪被害者のための専用窓口ができてきました。私たちが、今まで願っていたように少しずつ確実に被害者支援が広がってきています。

そこで第9回の今年の「WILL」では、一人でも多くの人に集まって頂き、この10年間を振り返りながら、分かりやすく問題を考えていくたいと思います。

子供たちをこれ以上被害者にも加害者にもしないためにも皆様方のご協力をよろしくお願い致します。

少年犯罪被害当事者の会 代表 武田舞

テーマ「開かれはじめた扉」～ここが変わった少年犯罪被害者への法律と支援～

ゲスト／内閣府犯罪被害者等施策推進室参事官 髙津守氏
法務省刑事局刑事法制企画官 飯島泰氏
最高裁判所事務総局家庭局第二課長 小田正二氏

日時／2007年10月13日土曜日 午後1時～
場所／大阪市立西区民センター 大阪市西区北堀江4丁目2番7号 TEL06-6531-1400
主催／少年犯罪被害当事者の会
後援／大阪府
協力／大阪被害者支援アドボカシーセンター、(NPO)京都犯罪被害者支援センター

プログラム／初めの挨拶
第一部 ある日の突然わたしたちの人生は
○遺族からのメッセージ
○黙祷
休憩（10分）

第二部「開かれはじめた扉」～ここが変わった少年犯罪被害者への法律と支援～
ディスカッション
○支援センター紹介
○学生スタッフ紹介
○主催者代表挨拶
○献花

「WILL」 意志・決意・願い・気持ち・遺言などの意味があります
WILLの歩み

第1回 平成11年10月9日 斉大阪市立西区民センター
テーマ／「もうひとつのことの日」
ゲスト／常磐大学：長井慜氏、弁護士：橋田直宏氏、弁護士：尾崎正義、

第2回 平成12年10月9日 斉大阪市立西区民ホール
テーマ／「被害直後の当事者に対する介護介入（ケアなど）」
参加者によるグループディスカッション

第3回 平成13年10月6日 斉大阪市立西区民センター
テーマ／「少年法改正後の現状」
ゲスト／同窓会：弁護士・長谷部巧氏、
大阪大学人間科学部教授：三木光彦氏

第4回 平成14年11月2日 斉大阪市立西区民センター
テーマ／「ある日突然訪れたもの人生」
ゲスト／大阪大学人間科学部教授（臨床心理学担当）、
大阪被害者支援NPOのセンター顧問・三木光彦氏
弁護士：大平光亮氏

第5回 平成15年10月11日 斉大阪市立西区民センター
テーマ／「教えてください弁護士さん！」
ゲスト／三好吉信弁護士・地元法律弁護士、川崎政宏弁護士
杉本宣義弁護士・運・張光弁護士

第6回 平成16年10月9日 斉大阪市立西区民センター
テーマ／「少年事件と少年法～世界と日本の現状から～」
ゲスト・法務省刑務局：河村聡氏
弁護士：立花紀氏、テレビ朝日：村永洋氏

第7回 平成17年10月8日 斉大阪市立西区民センター
テーマ／「犯罪被害者等基本法と少年事件～もう一度少年法を問い直そう～」
ゲスト・法務省刑務局：舟木允・伸氏
内閣府犯罪被害者等施策推進室：千葉・陽一氏

第8回 平成18年10月7日 斉大阪市立西区民センター
テーマ／「適正な実態認定とは何か？～少年法改正から5年後の現実～」
ゲスト・最高裁判所所務局家庭局：河原・俊也氏
立命館大学法学部教授：葛野・尋之氏

■少年犯罪被害当事者の会事務局 代表：武居千子
〒555-0024 大阪府大阪市西淀川区野里2-16-24
TEL. 06-6478-1488 FAX. 06-6478-1788
郵便振替 00970-3-113253
（よろしければ、カンパをお願いします）
URL
http://www005.upp.so-net.ne.jp/kanzaihigaisha/welcome.htm
子供たちをこれ以上被害者にも加害者にもしないために

本日は、お忙しい中、第9回「WILL」にご参加いただき誠に有難うございます。

当会では少年犯罪で救された子供たちの追悼と、置き去りにされたその子供たちや家族の現状を多くの人たちに知ってもらいたいと思い、「WILL」を催してきました。この「WILL」もおかげさまで9回目を迎えることになりまし

私たち「少年犯罪被害当事者の会」は、少年によって愛を抱かれた家族の会です。97年に会ができてから、子供を救された家族が中心になって、いっさるの政治や宗教等にとらわれることなく、少年法の問題なら限りなき体験を各方面で話してきました。

そして今年は、会ができる10年目を迎えます。

会ができるほど、少年犯罪被害者遺族の話を聞いてくれる所などどこにもなく、自分たちで機会を見つけて話をし続けてきた私たちにとってこの10年目のを迎えられるという事は、とても感謝深い思いです。

そしてこんなふうに会を続ける事ができたのは、この10年間に知り合った皆様方のおかげだと改めて感謝を申し上げます。

04年12月に犯罪被害者等基本法が成立し、現在では大阪府、京都府などの行政機関にも犯罪被害者のための専用窓口ができてきました。私たちが、今まで頑張っていたように少しずつ確実に被害者支援が広がってきています。

そこで第9回の今年の「WILL」では、一人でも多くの人に集まって頂き、この10年間を振り返りながら、わかりやすく問題を考えていきたいと思います。

子供たちをこれ以上被害者にも加害者にもしないためにも皆様方のご協力をよろしくお願い致します。

少年犯罪被害当事者の会 代表 武居子

テーマ「開かれはじめた扉」 ここが変わった少年犯罪被害者への法律と支援～

ゲスト／内閣府犯罪被害者等施策推進室参事官 高津 守氏
法務省刑事局刑事法制企画官 飯島 泰氏
最高裁判所事務総局家庭局第二課長 小田 正二氏

日時／2007年10月15日土曜日 午後1時～
場所／大阪市立西区民センター 大阪市西区北堀江4丁目2番7号 TEL06-6531-1400
主催／少年犯罪被害当事者の会
後援／大阪府
協力／大阪被害者支援アドボカシセンター、宮 京都犯罪被害者支援センター

プログラム／初めの挨拶
第一部 ある日突然わたしたちの人生は
○遺族からのメッセージ
○黙祷
休憩（10分）

第二部「開かれはじめた扉」ここが変わった少年犯罪被害者への法律と支援～
ディスカッション
○支援センター紹介
○学生スタッフ紹介
○主催者代表謝辞
○献花

「WILL」 意志・決意・願い・気持ち・遺言などの意味があります